

児童発達支援

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ドリーム前田 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されている。	保護者の方の要望や意向を聞き取り、アセスメントをとったり、全職員でお子さんの様子について情報を共有し、目標を定めて個別支援計画の作成を行っている。	保育園や幼稚園、関係機関なども情報を共有し、お子様に必要な目標を設定し、個別支援計画の作成を行っている。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	電話やアプリを使用して保護者の方とやり取りを行っている。その他お子さんの変化や保護者の方の悩まれていること、不安がある時には随時お話を聞かせていただき、対応方法の検討や、ドリームでの過ごし方を共有している。	今後も十分に寄り添いながら、お子さんの状況について共通理解を図っていく。
3	こどもは安心感をもって通所している。	送迎時やアプリなどで当日のお子さんの状況をよく把握し、活動内容も柔軟に対応している。また、楽しい雰囲気でも過ごすことができるよう職員やお友だちとの関係性を築くことで、居心地の良い場所となるように日々関わっている。	今後もお子さん一人ひとりの思いに十分に寄り添いながら、関わっていく。また、お子さんの様子についても随時発信し、安心して通ってもらえる場所となるように心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会	戸外活動などで、地域のお子さんと同じ空間で過ごす機会はあったがそれほど多く機会を設けることはできなかった。	戸外活動時には地域のお子さんと積極的に関わる機会を設けていくこと、また近隣の保育園や幼稚園との交流する機会も検討していきたい。
2	きょうだい同士の交流	長期休みにイベントを開催し、きょうだいの方にも参加をして頂いたが、きょうだい同士の交流は少なかった。	きょうだいの方にも参加をもらえるイベントを検討し、交流する機会を作っていく。

放課後等デイサービス

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ドリーム前田（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	電話やアプリ機能を使用して保護者の方とやり取りをしている。その他にお子さんの変化や保護者の方の思いを聞き取り、共通理解を図っている。	お子さんの様子について都度情報を共有し、安心して過ごすことができるよう努めていく。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している。	保護者の方からのご要望や、お子さんの様子を見極め支援を行っている。お子さんに必要な課題を個別・小集団で実施し、お子さんの状況に応じて専門的療育もを行っている。	アセスメントを行いお子さんの発達段階を見極め、専門的療育を行っている。
3	安心して通っている。	学校終了後に過ごす場所として、当日のお子さんの状況や気持ちをしっかりと把握することに努めている。お子さんの状況をよく把握し、活動内容も柔軟に対応している。職員やお友だちとの関係性を築くことで、居心地の良い場所となるように日々関わっている。	今後もお子さん一人ひとりの思いに十分に寄り添いながら、信頼関係を築き安心して通える場所となるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会。	長期休み期間に児童会館へ交流を行うことができたが、それほど多く機会を設けることはできなかった。	戸外活動時には地域のお子さんと積極的に関わる機会を設けていくこと、また近隣の児童会館との交流する機会を今後も継続して行っていく。また、地域の活動にも赴き、地域交流へと繋げていく。
2	きょうだい同士の交流	今年は複数回茶話会を開催し、保護者様同士で困りごとや、育児の中で嬉しかったことなど、様々な話を話す機会を設けることができた。イベント開催時にはきょうだいの方にも参加して頂いたが、きょうだい同士の交流は浅かった。	今後保護者のニーズに合わせて検討していく。